

E. 変性疾患, 先天性疾患

4. アルツハイマー病, ピック病

症例1 (64歳女性) : 進行する痴呆. Mini-Mental Status Examination (MMSE) score: 6/30点.
症例2 (68歳女性) : 進行性の痴呆にて, 頭部MRI施行.

■正常例の海馬

海馬体部は楕円形を示し, 不明瞭ではあるが渦巻き構造が確認できる (a 矢印). 拡散強調画像では, 海馬内部の渦巻き構造が明瞭に描出される (b 矢印). 高信号に描出された渦巻き構造の下部の部分が海馬台で (b 矢頭), 他の部分がアンモン角である.

■症例1 アルツハイマー病

海馬は全体に丸みを帯びて萎縮している (a 矢印). 拡散強調画像では海馬下部の高信号の部分 (海馬台) が著明に薄くなっている (b 矢印).

明らかな萎縮性変化, 脳室の拡大, 梗塞など異常所見は指摘できない (c).

■症例2 ピック病

両側側脳室の下角は著明に拡張し, 側頭葉の前方は萎縮が強い.

解説

アルツハイマー病 (Alzheimer disease) とピック病 (Pick disease) は, 痴呆をきたす代表的疾患である.

最近では, 以前区別されていた65歳以降に起こったアルツハイマー型老人性痴呆も, アルツハイマー病に含める. もの忘れなどの記憶障害で発症することが多く, 言語障害, 視空間失認をきたす. β アミロイド淡白の沈着した老人斑の出現が原因と推測されている. 大脳皮質全体の神経細胞脱落が見られるが, 特に海馬領域, 前頭葉下面の無名質の萎縮が報告されている. また, 進行例では側頭葉前半部, 頭頂葉の萎縮が見られるようになる. 近年, アセチルコリンエステラーゼ阻害作用を持つアリセプト (塩酸ドネペジル) が軽症例に用いられるようになり, 早期アルツハイマー病に対する画像診断の意義が大きくなった.

進行例では側頭葉内側部から前半部, 頭頂葉の萎縮が見られる. また, 海馬領域の萎縮を反映して側脳室下角の拡大が認められる. 比較的判断しやすい所見として, 冠状断像による海馬体部の形状変化がある. 冠状断像で正常海馬体部は横に長い楕円形を呈するが, 萎縮海馬は円形を呈するようになる¹⁾. しかし, 軽症例では特異的所見は指摘できず, 脳梗塞や出血の有無の確認など除外診断が主眼となる. 最近

のMRIの進歩により, 軽症例でも冠状断像による無名質の萎縮²⁾, 拡散強調画像を用いて海馬内部の変化や海馬台の萎縮がとらえられるようになってきた¹⁾.

ピック病は, 記憶障害よりも人格変化をきたす, 進行性の痴呆である. 組織学的には, 神経細胞内にピック嗜銀球 (Pick body) を認める. 画像上も, アルツハイマー病とは異なり前頭葉, 側頭葉の萎縮が強く, 特に側頭葉前方部の脳回は柳葉のように薄く尖った形状を示す.

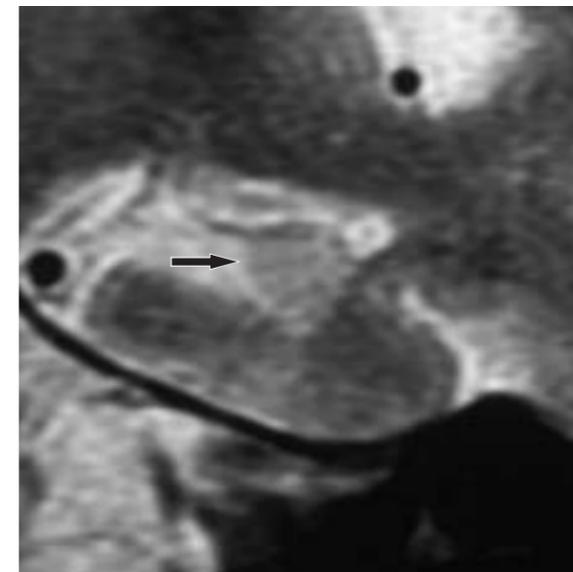
ワンポイント

・アルツハイマー病では, 冠状断像により海馬の萎

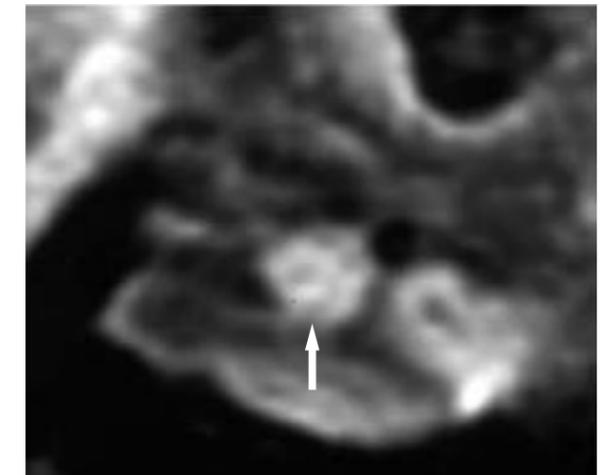
縮を判定する.

〈文献〉

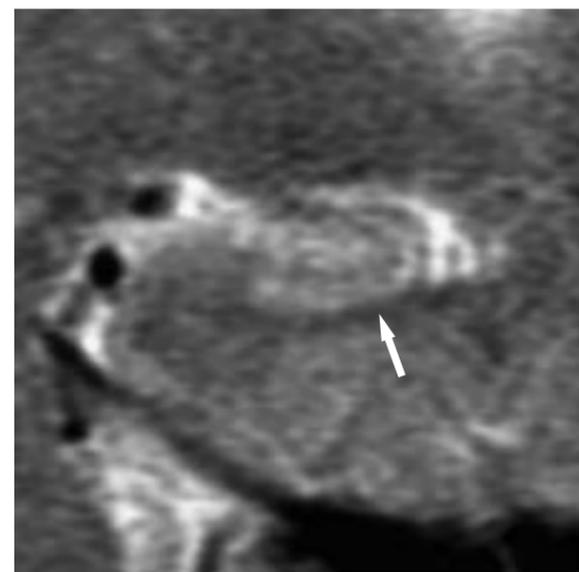
- 1) Adachi M, Kawakatsu S, Hosoya T, et al. Morphology of the inner structure of the hippocampal formation in Alzheimer disease. AJNR Am J Neuroradiol. 2003; 24: 1575-81.
- 2) Hanyu H, Asano T, Sakurai H, et al. MR analysis of the substantia innominata in normal aging, Alzheimer disease, and other types of dementia. AJNR Am J Neuroradiol. 2002; 23: 27-32.



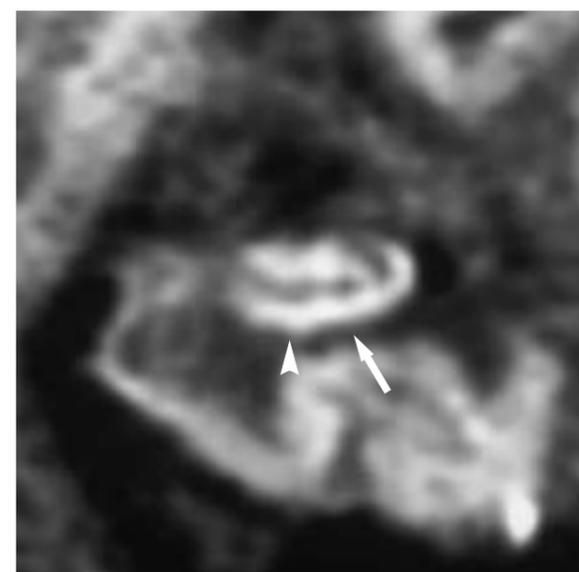
症例1-a MRI (T2強調画像)



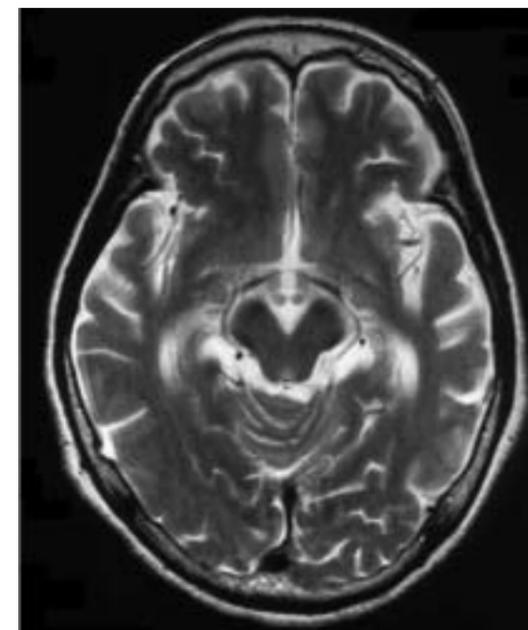
症例1-b MRI (拡散強調画像)



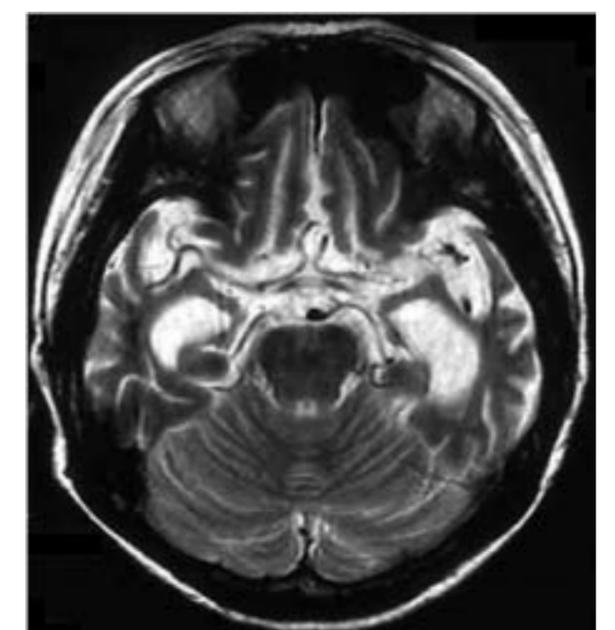
正常例の海馬-a (T2強調画像, 冠状断像)



正常例の海馬-b (拡散強調画像, 冠状断像)



症例1-c MRI (T2強調画像)



症例2-a MRI (T2強調画像, 側脳室下角レベル)